

『ティーチャートーク』

～ある教師のコメントを分析～

多くの教師が学生に言うこと:

- 「このスペルは間違っている。」
- 「この文字は大文字にすべきだ。」
- 「この段落はもっと内容を膨らませて。」
- 「あっ!この文章には、盗用した文が含まれている!」

教師が言わなければならないこと:

- 「アイデアをもっと探求し、忍耐強く取り組んでください。」
- 「表現方法は、後でも直せませう。まず文章の内容について深く考えてください。」
- 「もっと深く読みこんで!そうすると自分の考えを深めることができます。」
- 「書きなおしを躊躇しないでください。文章を磨くとあなたの言葉が輝きます。」
- 「書くことは旅であり、ゴールが最終目的ではありません。書き続けることが大切です。」



ティム: (口ごもりながら) 授業中、教師は学生に意味のあることを言っていると思いますか?

ミン: いやあー? ほとんどの学生は聞いていないでしょう。同じことを何度も繰り返されると、ホント! イライラしてくるよ。

アンドレイ: ほとんどの人は、エッセイの正しい書き方について聞きたくないのではないかと、思います。根っからの正直者の学生であれば、完全に書くことをやめるでしょう。なぜなら私たちの言葉の95%以上は、ゴミですから。

玲亜: (厳しく) コメントには、気をつけてくださいね。何が「正しい」なのか、「単なるゴミ」なのかを知っていると主張するのは、とても傲慢です。すべての判断は非常に主観的なものです。

- T Newfields (和訳: テレサ、前田晃代と吉田典子)

開始: 2007年 静岡市 完成: 2023年 横浜市